

ぼくの弟

五年 伊藤 烈

ぼくの家族の中にギリシャリクガメがいます。2020年からぼくの家族として、うちにやってきました。

来たばかりの時はとっても小さくて、手の平の中に入ってしまうほどの大きさでした。まだその時には性別は分からなくて、うちには女の子がお母さんしかいないから女の子がいいなと思っていました。

ギリシャリクガメは、甲らがとてもきれいなも様のリクガメです。ギリシャリクガメと種類の名前についてはありますが、ギリシャの国とは関係がないようです。ギリシャじゅうたんというとてもきれいなも様のじゅうたんがあり、そのじゅうたんのようにきれいなも様の甲らなので、そこからギリシャリクガメと名前が付いたようです。とてもおもしろい名付けだなと思いました。

カメはとても長生きの生き物です。「かめは万年」と言われるくらいです。その中でリクガメは種類によってちがいますが、約25年〜30年ほど生きるそうです。うちのギリシャリクガメよりもっと大きいリクガメは50年生きると言われています。大きさが大きくなればなるほど長生きです。一番長生きのゾウガメは200年〜250年と言われています。それは万年生きると言われるわけですね。

だからか、そんなにも長く生きるなんて知らなかった、それは困る、など人間の身勝手な思いで捨てられてしまう子もいます。野生のリクガメは日本にはいませんが、今の時代で野生のカメというと、外来種のミシシッピアカミミガメをよく見ます。ぼくのうちの近くには毎年、夏になるとたくさん道路に出てきます。車にひかれてしまうのはかわいそうなので、つかまえて家の大きなバケツに入れてあげるのですがすぐ逃げてしまいます。

このように、たくさん野生ミシシッピアカミミガメがいるということは、何十年も前に人間の身勝手な飼いで捨てられて、自然界で増えてしまい、今の生態系がくずれてきています。

人間の身勝手な売りが始まり、それを簡単な気持ちで買い飼った人が、実際には飼いつづけられないとなつて、1匹の外来種が捨てられたことによつて何十年の時がたち、今この時代には大変なことになつていきます。

カメだけではなくて、魚にも川にもものすごく悪いえいきょうがあつて、その後にはまた人間に返ってくる。そのくり返しなんだなと思います。

何の生き物でもとてもかわいいです。とくに家族になり、ぼくの弟となるとかわいさがまた違います。生き物も大きい小さい関係なく、ちゃんと命がみんな平等にあります。どの子も人間と同じ、という気持ちで生き物とふれあつてほしいです。